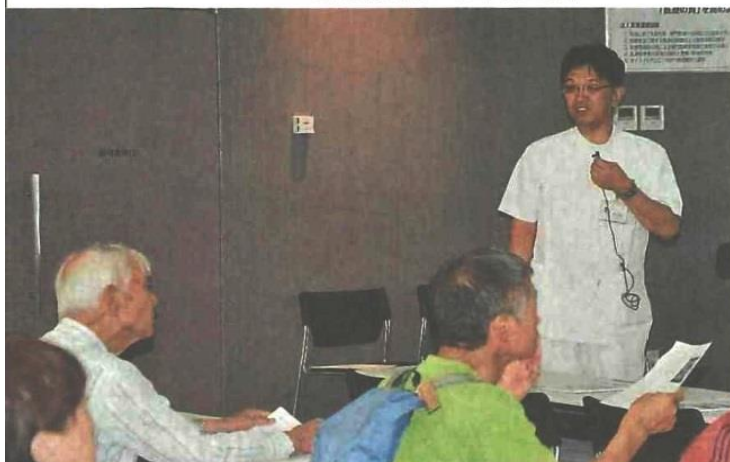


脳卒中の予防法や初期症状
を解説する林医師



脳卒中見逃さないで

製鉄記念室蘭病院で健康セミナー

笑うと顔ゆがむ、片腕の力抜ける…初期症状紹介

製鉄記念室蘭病院の健康セミナーが室蘭市知利別町の同病院で開かれ、市民ら約30人が脳卒中の予防法や初期症状などを学んだ。

同病院脳神経外科長の林征志医師(52)が講師を務め、13日に実施し、スライドを使いながら説明した。脳卒中の初期症状として①

笑うと顔の片方がゆがむ②ろれつが回らない③片腕の力が抜ける―を挙げ、「一時的に症状が消える場合もあるが、脳梗塞の前兆の場合もある。こうした症状が出たら、急いで病院に行ってほしい」と強調した。

脳卒中の最近の治療法にもふれ、脳の血管内に詰まった血栓を溶かす点滴薬や、カテーテルを血管内に通して血栓を取り除く治療法などを紹介した。林医師は「高血圧や糖尿病も脳卒中のリスクを高める。食生活や運動習慣を見直し、健康な生活を送ることが予防につながる」と話した。

(須田幹生)